

## 加入促進活動 | 双葉町町内会

会長 いのまた 猪股 みずひこ 瑞彦さん に **インタビュー**  
環境美化部長 きむら 木村 えいじ 榮二さん

双葉町町内会では、4月から積極的に町内会加入の呼び掛けをしています。始まりは、町内会未加入の世帯が多い地域のごみステーションでは、ごみが散らかりやすいということが見かけられていたためです。未加入の世帯に町内会に加入していただき、ごみの分別方法などのルールを再度呼び掛け、少しでも暮らしやすい地域を目指しています。

双葉町町内会では週に数回、町内会長をはじめ副会長や役員で町内会未加入の世帯を一軒一軒訪問し、積極的な加入を勧めています。1回の訪問活動で、共同住宅を中心に80軒ほど回り、町内会の活動内容を伝えています。加入の呼び掛けをしていく中で分かってきた部分もあります。「新しく引っ越して来たけれど、勧誘が来ないので加入しそびれていた」「以前は加入していたが途中で町内会が来なくなり、いつの間にか脱退していた」など今まで知らないことがあって驚いています。

町内会のことは通常回覧板でお知らせしていますが、留守がちな世帯には町内会報を投函するなど、会員に合わせた柔軟な対応を心掛けています。

今後も住みよい地域づくりのために、活動していきたいです。



地域をキレイにすると、  
どんな効果があるの…?

地域内の環境が整備されていると、住民の目が行き届いていることが分かり、犯罪防止にもつながります。町内会では、地域の環境美化活動も行っています。

## 防犯・防災活動 | 澄川町町内会

会長 たき 瀧 すすむ 進さん に **インタビュー**

澄川町町内会では、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の際に、澄川町総合福祉会館で発電機を利用した地域住民向けの携帯電話充電サービスを行い、456人の充電に対応しました。

地震発生後、地域住民への情報提供や災害本部の運営、要支援者への安否確認など課題も見えてきました。地域住民の安全を守り、安心して暮らすために、改めて活動内容の分析と組織内の役割分担を確認し合い、具体的にどのような対策が必要なのか、現在町内会で検討を重ねているところです。

現在市内には70の自主防災組織がありますが、苫小牧市自主防災組織連合会の研修の中で、さまざまな意見を取り入れながら課題や解決方法の共有をしていくことが必要だと考えています。

日ごろの活動でも、夜間パトロール隊を結成し、防犯・防火の声掛けをしながら地域の見回りを行っています。また、小学生以下を対象としたキッズファイヤークラブが組織されており、出初め式や近隣町内会のお祭りで人命救助や消火活動などの劇を披露しています。幼少期からの活動を通して、防災について学んでもらえればと考えています。

澄川町町内会は昨年創立40周年を迎えました。今後も隣近所が仲の良い、顔の見える関係を築いていけるよう活動していきたいです。



自主防災組織って…?

町内会や自治会が主体となって、地域住民が協力し合い自発的に作る組織です。地域の防災活動の拠点となるとともに、いざというときに災害に強い地域づくりを目指して活動しています。